

【 エコアクション21 】

環境経営レポート

2024 年度

(対象期間： 2023 年11月1日～ 2024 年10月31日)



項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果， 並びに違反，訴訟等の有無	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

□ごあいさつ

当社は創業以来、「お客様によりこんでいただける仕事を通して社員の幸福と企業の発展を追及し、地域社会に貢献できる企業をめざす」ことを経営理念とし、社員一人ひとりが常に「創意、誠意、熱意」をもって仕事に取り組むことを基本にして参りました。

近年の時代の変化と共により高度なニーズに対応すべく、日々たゆまない研究と開発に努めておりますが、世の中の変化は益々加速し、価値観の変化あるいは多様化は一層の拡大を見せております。

時代は高度情報化社会へと突入し、留まることを知らない技術革新を続ける一方で、20世紀型の大量生産・大量消費・大量廃棄から循環型への転換は遅々として進まず、地球の温暖化や資源の枯渇など、自然環境に多大な負荷を与え、このままでは人類の生存そのものが脅かされる可能性さえ出てきています。

当社は環境経営システム【エコアクション21】を構築し、われわれの事業活動が人と環境との調和、人と社会との発展に少しでも寄与出来るよう取り組んでまいります。

株式会社 谷電気

代表取締役 谷 政智

環境経営方針

＜環境経営理念＞

人と環境との調和、人と社会との発展に寄与できるよう従業員一丸となって環境経営システムの継続的な改善に取り組み、当社の事業活動を通じ社会に貢献することを目指します。

＜環境保全への行動指針＞

- Ⅰ． 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ※ Ⅱ． 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ※ Ⅲ． 廃棄物分別の推進で排出量の削減、リサイクル率の向上に努めます。
- Ⅳ． 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- Ⅴ． 環境に配慮した物品の購入を推進します。
- Ⅵ． 環境に配慮した製品の使用及び工事に努めます。
- Ⅶ． 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

※重点項目

作成日： 2018年11月10日

代表取締役

谷 政智

□組織の概要

更新日： 2024年11月10日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 谷電気

代表取締役 谷 政智

(2) 所在地

本社 兵庫県洲本市千草乙147番地

倉庫 兵庫県洲本市千草乙256-1番地

(3) 環境管理責任者

責任者 芝 信行

担当者 鯛 満弘

(4) 事業内容

電気工事業、消防施設工事業、土木工事業、管工事業、建築工事業

(5) 事業の規模

売上高 886 百万円

	本社	倉庫	合計
従業員 名	17 名	0 名	17 名
延べ床面積 m ²	142 m ²	509 m ²	651 m ²

(6) 事業年度

11 月 1 日 ~ 10 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 谷電気

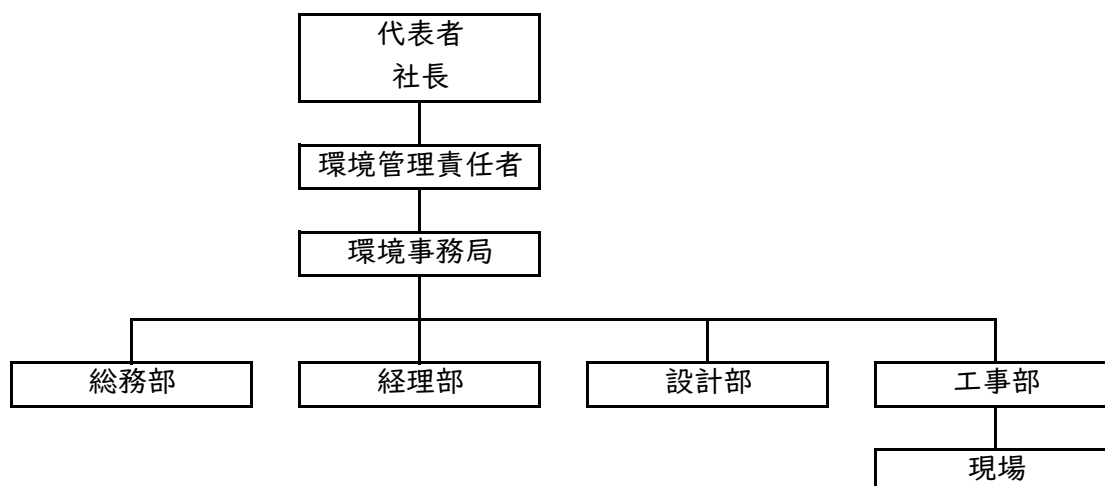
対象事業所： 本社

倉庫

事業活動：

電気工事業、消防施設工事業、土木工事業、管工事業、建築工事業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長） 谷 政智	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、管理事務局の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門 経理部 総務部 設計部 工事部	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	57,046	52,596	59,095
一般廃棄物排出量	トン	0.214	0.216	0.216
産業廃棄物排出量	トン	12.61	123.95	6.24
総排水量	m ³	64	66	74

※二酸化炭素排出係数 0.419 kg-CO₂/kWh 2023年度関西電力の調整後排出係数を採用。

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

項目 \ 年 度		基準値	2024年		評価	2025年	2026年
			2023年11月1日～ 2024年10月31日				
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	8,168		6,495		2019年度以降 原単位目標に移行	2019年度以降 原単位目標に移行
	基準年度比	2009年		80%			
(電力) 売上高原単位削減	売上高(千円)	395,000		866,916			
	kg-CO2/千円	0.0207	0.0188	0.0075	○	0.0188	0.0188
	達成率			251%			
	基準年度比	2024年	91.0%	36.2%		91.0%	91.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	Kg-CO2	57,558		51,767		2021年度以降 原単位目標に移行	2021年度以降 原単位目標に移行
	基準年度比	2009年		90%			
(化石燃料) 売上高原単位削減	売上高(千円)	395,000		866,916			
	kg-CO2/千円	0.146	0.133	0.060	○	0.133	0.133
	達成率			222%			
	基準年度比	2024年	91.0%	41.0%		91.0%	91.0%
一般廃棄物の削減	k g	240	216	216	○	216	216
	達成率			100%			
	基準年度比	2010年	90.0%	89.9%		90%	90%
産業廃棄物の削減	t	78.44	70.60	10.02	○	70.60	70.60
	達成率			705%			
	基準年度比	2009年	90.0%	12.8%		90.0%	90.0%
建設副産物のリサイクル率の向上	%	90.86%	99.04%	62.97%	×	原単位目標に移行する。	原単位目標に移行する。
	達成率			63.6%			
水道水の削減	m³	115	102	74	○	81	81
	達成率			138.3%			
	基準年度比	2017年	89.0%	64.3%		70%	70%
環境に配慮した工事の推進 (太陽光発電、エコキュート、 省エネ空調の推進件数)	件数(トータル)	—	10件(トータル)	12 件	○	10件(トータル)	10件(トータル)
	達成率			120%			
環境保全活動の参加	回/年	—	3 回/年	3 回	○	3 回/年	3 回/年
	達成率			100.0%			

※1.灯油は少量の為、目標に設定していない。

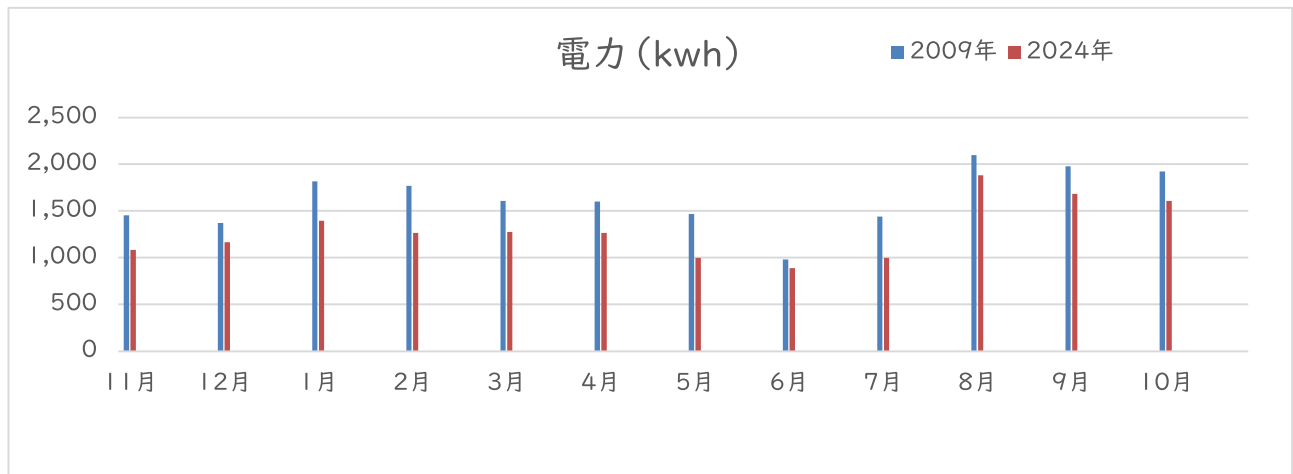
※2.化学物質の使用はありません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

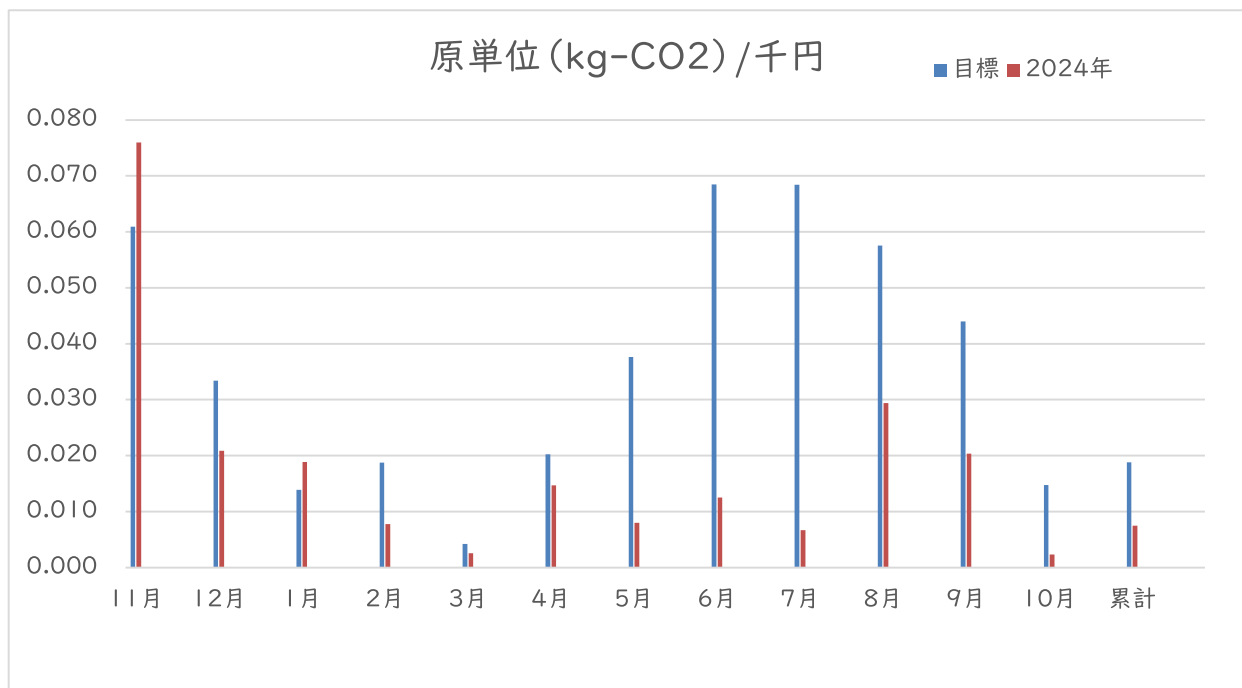
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	活動状況	取組結果とその評価
(電力) 売上高原単位削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度は売上が基準年度の2倍以上を達成し、電力量の使用量も基準年度の20%削減を達成出来ました。 売上については景気に影響される部分の為、次年度以降も節電を怠らず日々の業務に務める。
・各空調機の温度設定の確認。	○	



電力使用量

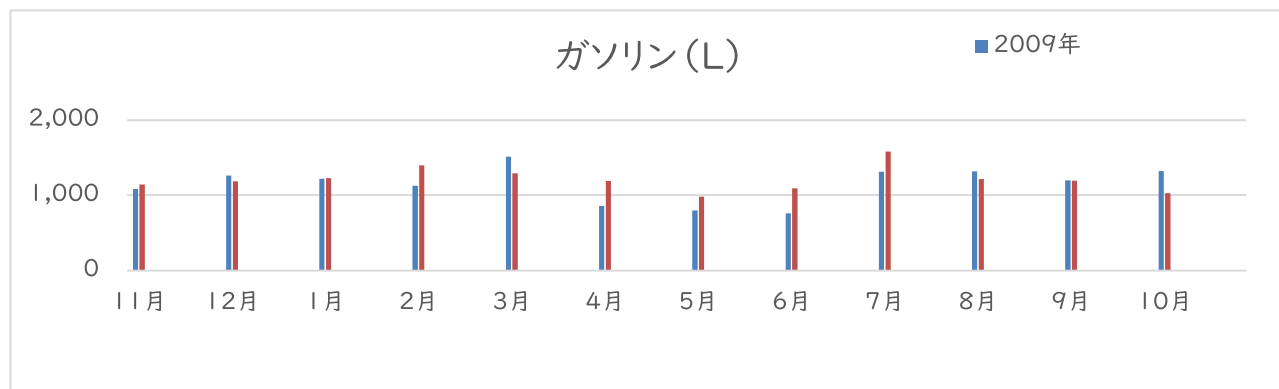
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
2009年	1,452	1,369	1,816	1,767	1,607	1,600	1,468	980	1,440	2,097	1,976	1,921	19,493
2024年	1,083	1,165	1,394	1,265	1,276	1,265	998	887	997	1,882	1,683	1,606	15,501



原単位 (売上高に対する。)

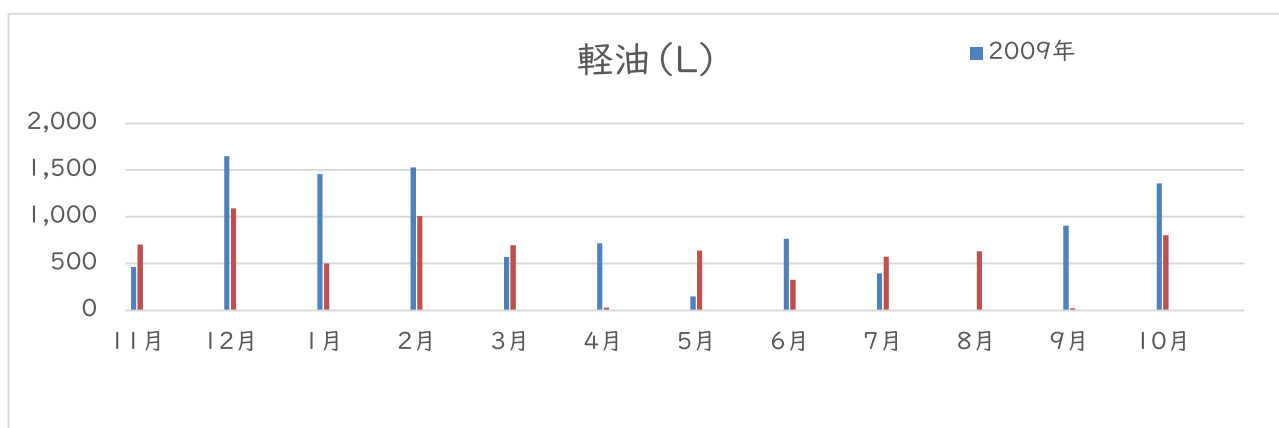
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	0.061	0.033	0.014	0.019	0.004	0.020	0.038	0.068	0.068	0.058	0.044	0.015	0.019
2024年	0.076	0.021	0.019	0.008	0.003	0.015	0.008	0.012	0.007	0.029	0.020	0.002	0.007

自動車燃料による二酸化炭素削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		ガソリンの使用量だけを比較した場合基準年度の105%である。軽油については70.5%の結果となっている。次年度以降も基本の努力を怠らないように取り組む。
・相乗り運転を心がける。	○	
・不要な資材・道具はこまめに積み降ろす。	○	



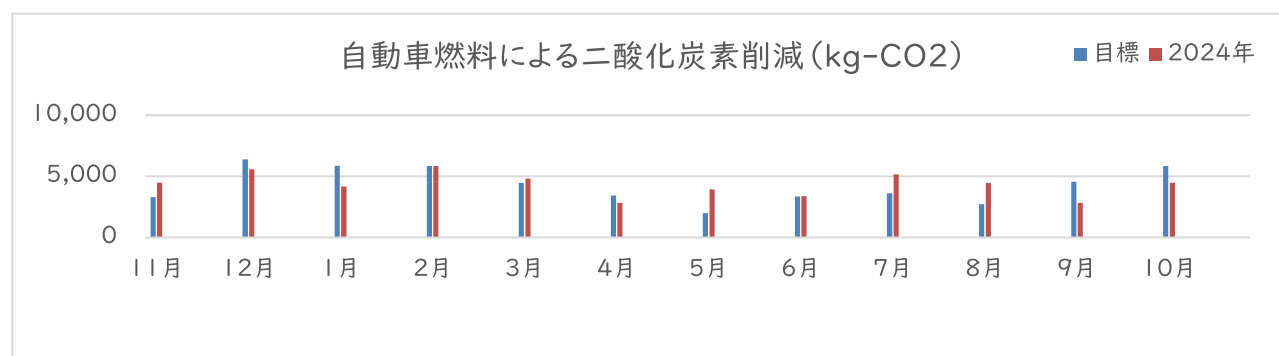
ガソリン使用量

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
2009年	1,081	1,262	1,218	1,123	1,511	855	796	760	1,310	1,317	1,197	1,318	13,747
2024年	1,141	1,183	1,228	1,397	1,291	1,187	980	1,092	1,578	1,214	1,191	1,025	14,509



軽油使用量

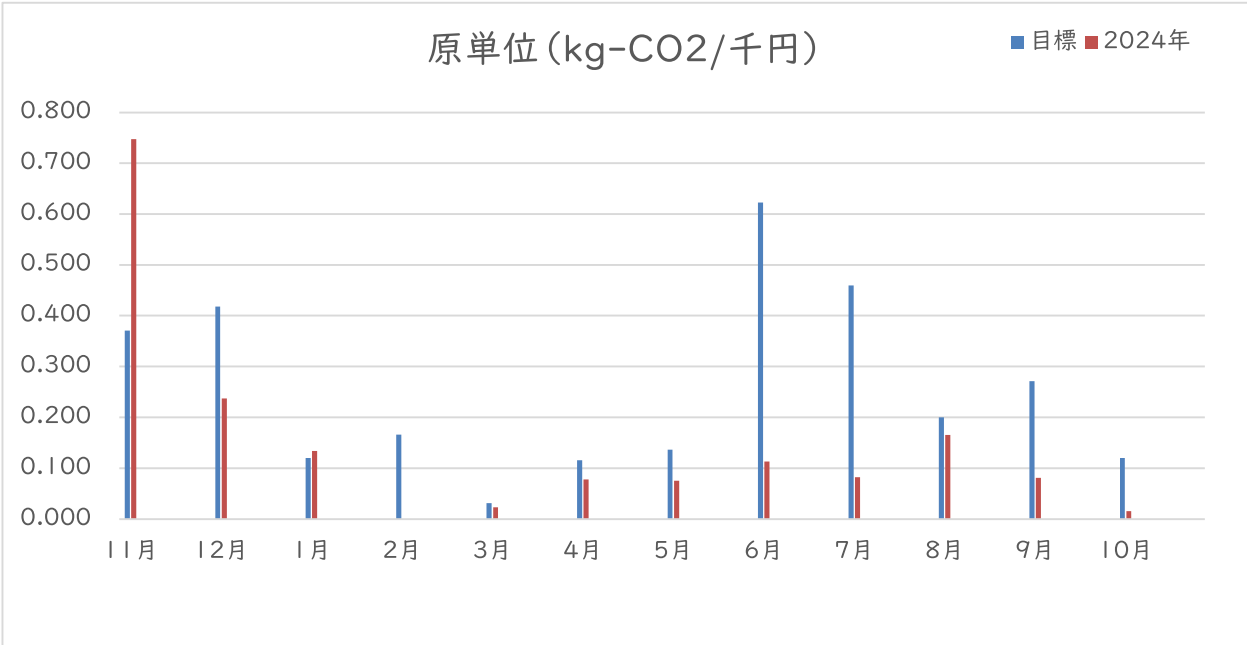
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
2009年	463	1,647	1,455	1,529	569	716	149	765	394	0	905	1,357	9,948
2024年	704	1,089	502	1,006	697	27	639	326	573	631	22	803	7,018



自動車燃料による二酸化炭素 (kg-CO2) 発生量

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	3,296	6,387	5,855	5,828	4,427	3,410	1,985	3,325	3,609	2,719	4,549	5,837	51,227
2024年	4,465	5,555	4,143	5,837	4,793	2,824	3,923	3,373	5,140	4,443	2,818	4,452	51,767

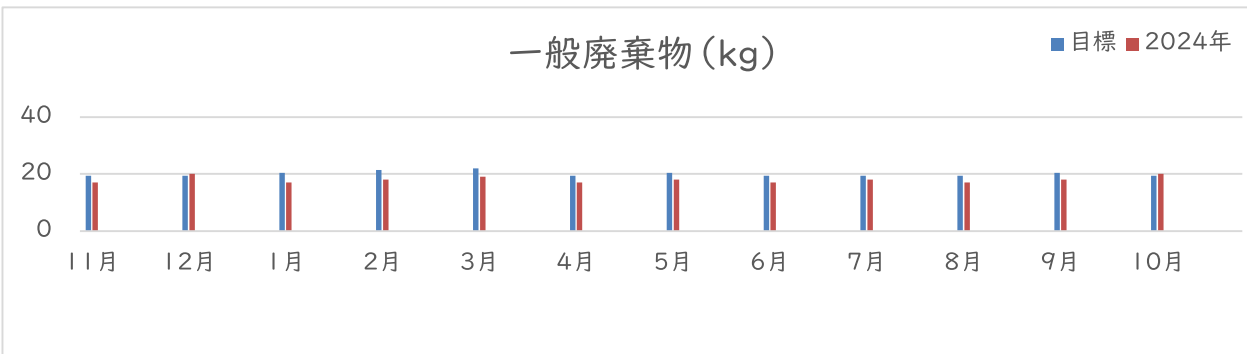
(化石燃料) 売上高原単位削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標の原単位は達成出来ているが、kg-CO2だけの目標値に対して101%と達成はうれしいが手放して喜べる結果とは言えない部分がある。また売上にも左右される為、次年度以降も基本の削減努力を継続する。
	 	



原単位 (売上高に対する。)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	0.371	0.418	0.120	0.166	0.031	0.116	0.136	0.623	0.460	0.200	0.271	0.120	0.133
2024年	0.747	0.237	0.134	0.000	0.023	0.078	0.075	0.113	0.083	0.166	0.081	0.015	0.060

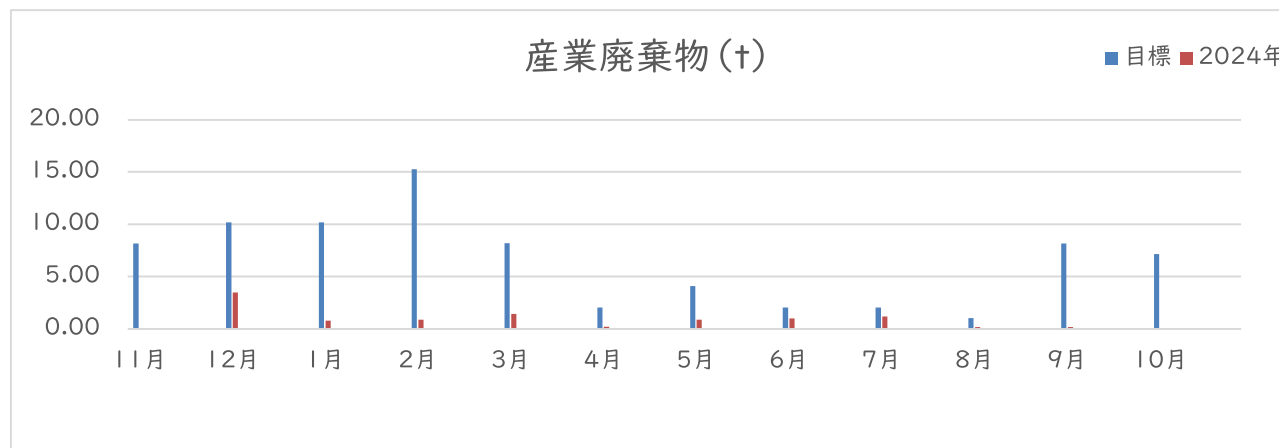
一般廃棄物の削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標は達成出来ているが、一般廃棄物は日常を通して発生する為、日々の削減意識をもって取り組む。
・裏紙使用、書類管理のペーパーレスを推進。	○	
・ unnecessary書類を出さない、もらわない。	○	
	 	



一般廃棄物削減目標

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	19	19	20	21	22	19	20	19	19	19	20	19	240
2024年	17	20	17	18	19	17	18	17	18	17	18	20	216

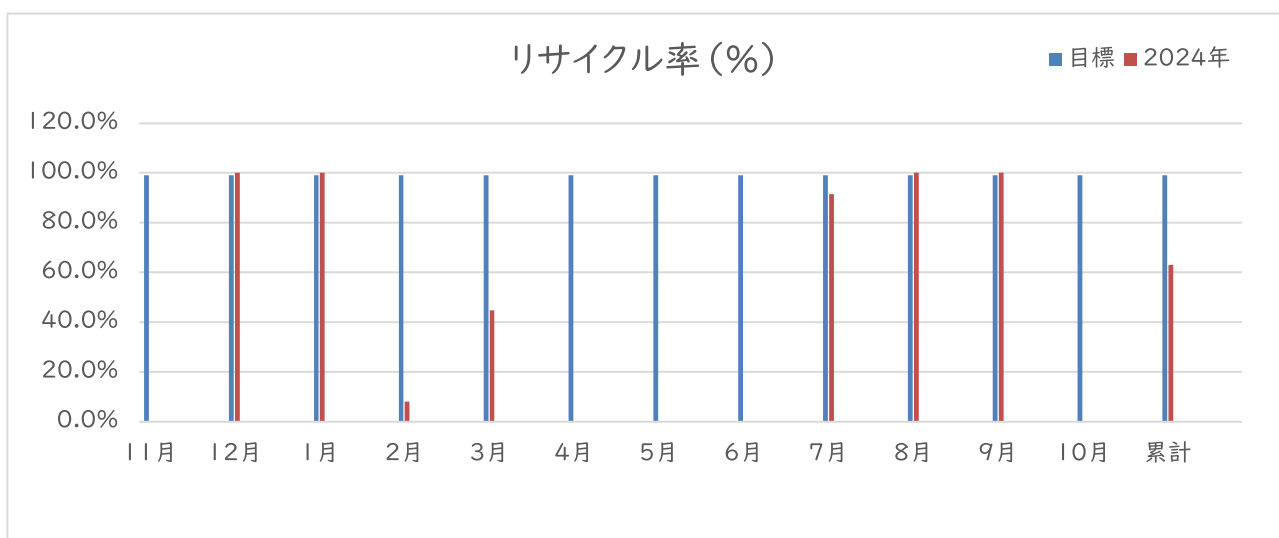
産業廃棄物の削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間を通して産業廃棄物の発生量が多い工事物件が無かった為、削減目標は達成出来た。次年度以降も削減努力を怠らない様にする。
・余剰資材の発注に注意する、	○	



産業廃棄物削減目標

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	8.16	10.18	10.18	15.27	8.18	2.04	4.07	2.03	2.03	1.01	8.15	7.14	78.44
2024年	0.00	3.47	0.76	0.87	1.41	0.19	0.85	0.99	1.17	0.16	0.15	0.00	10.02

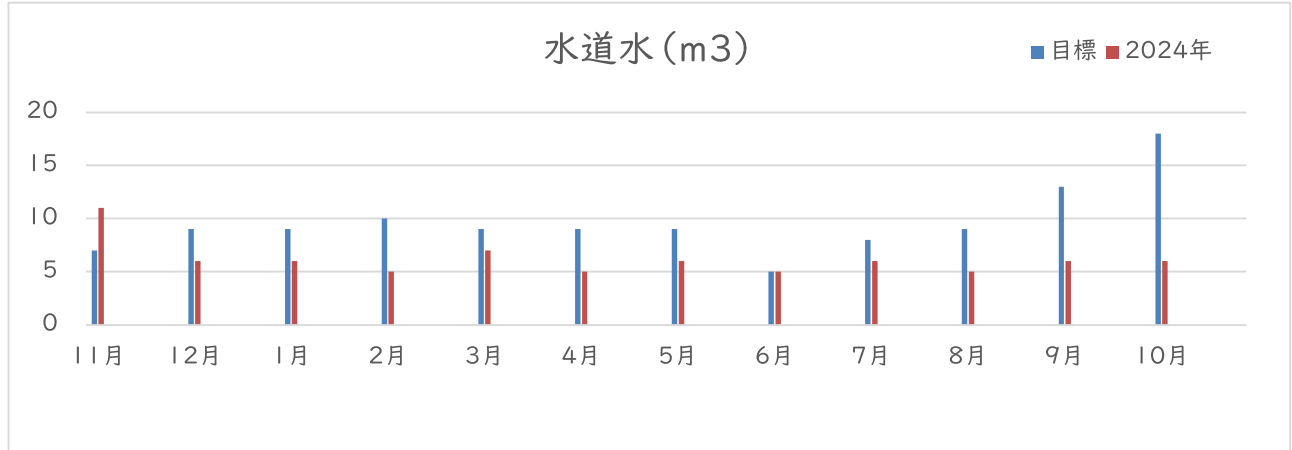
建設副産物のリサイクル率の向上		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	廃棄物量が少ないのは良かったが、リサイクル可能な廃棄物も少なく電気・管工事より混合廃棄物が多く発生する建築工事を受注していたので目標出来なかった。次年度も可能な限り分別に努めます。
・こまめに分別する。	○	
・廃棄物は透明袋に入れて分別しやすくする。	○	



建設副産物のリサイクル率の向上

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
2024年	#DIV/0!	100.0%	100.0%	8.0%	44.7%	0.0%	0.0%	0.0%	91.5%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	63.0%

水道水の削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	削減への取り組み節水設備への更新で取組年度から2021年度まで年々使用量は減っていたが、2022年度を境に年々使用量が増加傾向にある。使用量の推移に注視して、次年度以降も削減に努めます。
・蛇口のこまめな開閉と蛇口のフルオープンを避ける。	○	



水道水の削減目標

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	7	9	9	10	9	9	9	5	8	9	13	18	115
2024年	11	6	6	5	7	5	6	5	6	5	6	6	74

環境に配慮した工事の推進		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	順調では有るが景気に左右される部分も有るので、環境に配慮した提案を心がけ次年度以降も取り組む。
1.推進商品の省エネ効果の提案書作成・提出	○	



環境保全活動の参加		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	6月の建設業協会主催の清掃作業に参加出来た。7月の全島一斉清掃にも参加する事が出来た。次年度以降も行事に参加に取り組む。
・情報収集し参加機会を増やす。	○	



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	廃棄物処理業者の許可確認、マニフェスト交付・管理・保管、運搬時の表示・書類携行
騒音規制法	対象工事作業開始の7日までに市町村に届出（敷地境界線上で85dB以下）
振動規制法	対象工事作業開始の7日までに市町村に届出（敷地境界線上で75dB以下）
浄化槽法	保守点検、清掃、記録保管、定期水質検査の実施
フロン排出抑制法	登録フロン類充填回収業者へ適正な引渡し及び書類保管、対象機器の点検実施（空調機簡易点検記録は廃棄後3年間保存する。）

- ・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ・なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。
- ・関係当局からの違反・指摘もありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年1月10日

全体の評価

- ◆ 原単位を目標設定にしている取組にあっては営業実績に助けられた部分もあるが目標達成出来たことは喜ばしい所である。一方、目標が未達成であった建設副産物のリサイクル率の向上は受注した工事物件の内容に左右される為、やむを得ない事ではあるが分別につながるプラスワンの努力と工夫を継続して取り組む事。

見直し・指示

- ◆ 環境経営方針及び実施体制については現状のままで取り組む。
- ◆ 環境経営目標及び計画について、目標値が高い建設副産物のリサイクル率の値を次年度以降原単位目標を設定して取り組む事。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

